

建築史上に類のない 日本最大級の木造建築

静岡県草薙総合運動場体育館

このはなアリーナ

(静岡市)



観客席数は2,700席。国内最大級の木造建築であり、国内有数の屋内スポーツ施設となっている。

撮影：吉田誠「日経アーキテクチャ」2015年5月10日号

静岡県草薙総合運動場 このはなアリーナ

静岡県静岡市駿河区東原19-1
電話：054-261-9265
供用期間：1月4日～12月28日
供用時間：8:30～21:00
静鉄清水線 東総合運動場駅下車徒歩3分
東海道本線 東静岡駅下車徒歩20分



今年4月、静岡県草薙総合運動

場の新体育館「このはなアリーナ」が完成した。曲線と直線が織り成す力強くも柔らかなデザインは、周囲の景観に美しく調和し、早くも静岡の新名所になりつつある。「GA」「新建築」「日経アーキテクチャ」「近代建築」など、多くの建築雑誌にも注目され、紹介された。

同館の特徴は静岡県産の高品質な「天竜杉」をふんだんに使っていることだ。原木約7000本に相当する大量の木材は、内装だけでなく構造にも用いられ、日本最大級の木造建築として偉容を誇る。建築面積は9701㎡、延床面積は13509㎡に及び、メインフロアの巨大空間は思わず息を飲むほど美しく芸術的だ。しかし、屋内に木の優しさがあふれているため、威圧感はまったくない。居ながらにして森林浴をしているような安らぎさえ感じる。

同館を設計したのは東京大学名誉教授の建築家・内藤廣さんだ。「今回の設計・施工は過去に例のない挑戦でした。静岡の風土を生かしながら、木造で大空間を創出し、なおかつ大地震に対する備えをす

ることは国内で最も難易度の高い仕事だったと思います。大切にしたいのは人が集まる場所であること。大きな空間はともすれば人を拒絶するので、私は人の居心地にこだわりました」と内藤さん。その言葉通り、同館の美しさは人が集うことでいっそう輝きを増す。

同館の完成式典が行われたのは4月2日。その3日後の4月5日にはこけら落としとして「大相撲富士山静岡場所」が開催され、会場を埋めた満員の観客が力士同士の熱闘に沸いた。

美しく居心地の良い空間の中で繰り広げられる名勝負。「このはなアリーナ」にはスポーツの記憶をかけがえない心に残る思い出に変える力が宿っている。人が集まるこの場所から、今後、多くの感動が生まれることだろう。



撮影：吉田誠



同館の名は富士山の御祭神「コノハナサクヤヒメ」にちなむ。この場所から東方に富士山がそびえる。

撮影：吉田誠



撮影：内藤廣建築設計事務所



撮影：吉田誠「日経アーキテクチャ」2015年5月10日号



内藤廣(ないとうひろし)
建築家・東京大学名誉教授

1950年生まれ。1976年早稲田大学大学院修士課程修了。フェルナンド・イゲラス建築設計事務所、菊竹清訓建築設計事務所を経て、1981年内藤廣建築設計事務所設立。2001年から東京大学大学院教授、副学長を歴任後、2011年に退官。静岡県内の建築作品に倫理研究所 富士高原研修所(2001)、とらや御殿場店(2006)、とらや工房(2007)、静岡県草薙総合運動場体育館(2015)がある。

◎目次

1 静岡景観
このはなアリーナ

3 ◆知事対談
和の国日本、
その源流を
考える。

奈良県知事
荒井正吾氏対談

7 ◆知事対談
日韓の縁
静岡から

駐日韓国大使
柳興洙氏対談

9 ふじのくにの地域外交
台湾編

11 次代を拓く
株式会社テクノサイエンス

12 ふじのくにから世界へ
世界遺産「富士山反射炉」

13 ◆県政特集
世界に誇る
防災先進県

15 花の都しずおか
アカオハープ&ローズガーデン
牧之原市 花の会

17 ふじのくにを食す
クラウンメロン・アローマメロン

18 旬の人
加藤桃子さん